

山陰近畿自動車道整備推進決起大会 = 概要報告 =

1 **開催日時** 平成28年11月24日（木） 15:00～16:00

2 **開催場所** 衆議院第一議員会館 多目的ホール（東京都千代田区永田町）

3 **参加者** 約220名（以下、主な出席者）

○山陰近畿自動車道整備推進協議会

山田京都府知事（会長）、井戸兵庫県知事、平井鳥取県知事

○山陰近畿自動車道整備推進議員連盟

石破衆議（会長）、谷衆議（事務局長）、田中衆議、西田参議

中野衆議、山田衆議、舞立参議、伊藤参議、青木参議、足立参議

○国土交通省

末松副大臣、藤井政務官、石川道路局長

池田近畿地方整備局長、瀬良中国地方整備局副局長

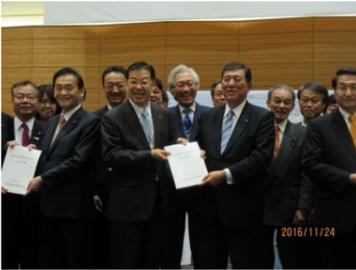
○山陰近畿自動車道整備推進三府県議会議員の会

上田、門間、安福、福田兵庫県議、前田鳥取県議

○沿線市町長

三崎京丹後市長、中貝豊岡市長、広瀬養父市長、岡本新温泉町長、浜上香美町長

榎本岩美町長



4 概要（発言要旨）

【三府県知事】

■山田京都府知事

本当に、日本海側の国土軸なくして、私達の国の将来の構図は描けるのだろうかと思う。なぜ、一番、いつも後に回されて、いつまで私達は我慢していくのだろうか、という問題だ、と思う。ナンバリングの検討委員会で、この路線は、「E9」、イクという名前をいただいたので、これから更に行くぞ、という気である。京都においては、10月30日に野田川大宮道路4.3kmが開通。順調に交通量は増え、地域経済効果が出てきており、まさに、地域の未来を作れる道路であるということが実証されている。

しかし、現在供用開始されている部分は3割にしかすぎず、そして、京都府では、網野～兵庫県境は、未だに白紙状態。早く調査をしていただき、日本海国土軸としての山陰近畿自動車道が、しっかりと姿を現せるように、ぜひともお願いしたい。

■井戸兵庫県知事

ルートが決まっていないところを何とか解消したい。浜坂道路は H29 供用の目途がたち、その西を引き続いてやりたい。北近畿豊岡道と山陰近畿道は、城崎温泉の近くで接続させ、ここから京都府に向けての整備は、直轄代行で是非お願いしたい。山陰近畿道は、「命の道」であり、「観光の道」であり、「危機管理の道」。日本海側の整備をきっちり進めて、環日本海時代を迎えなくてはならない。

■平井鳥取県知事

10月21日の鳥取県中部地震が発生した。各方面からの支援に感謝する。こういう時に支援のルートになるのが高速道路。鳥取県は浦富ICまでつながり、砂丘と浦富海岸とが結ばれ、山陰海岸ジオパークの周遊性が高まった。天橋立ともつながれば、どんなに周遊性が出てくるのか。但馬地域から鳥取中央病院に救急患者が運ばれており、命に関わる道路でもある。是非、皆様のお力をもって山陰近畿道の開通を成就していただきたい。

【国会議員】

■石破衆議院議員（鳥取1区）

これから先、人口が急減する。出生率の高い山陰から一番低い東京へどんどん人が移っていくのを止めないと、この国はやがてなくなってしまふ。今この道路をやらないでどうする、地元のためのみならず、日本国のためである。一刻をあらそう問題だ。

■西田参議院議員（京都）

公共事業予算が少ない。たくさんしなければならぬ仕事がある。財務省はプライマリーバランスを2020年までに黒字化すると言っているが、赤字国債と建設国債を同列に扱っており、間違っている。この方針を変えさせていかないと、新幹線も、道路も実現できない。

■足立参議院議員（全国比例）

全国比例区の選出であるが、出身は夜久野、母親の里は和田山、学校は豊岡であり、皆さんと縁がある。選挙戦で出雲から福知山まで車で移動し、この不便さを体感した。ふるさとのためにもしっかりと頑張っ、皆様のお役にたてるよう頑張りたい。

■青木参議院議員（鳥取・島根合区）

この夏の選挙で鳥取・島根合区の選出となった。この地域は辛抱が過ぎたのではないか。これからインバウンド観光客をどんどん受けていかねばならない。大きな声を上げて山陰近畿道の完成に向けて頑張りたい。

■舞立参議院議員（鳥取）

アベノミクスの加速、また、日本海側の発展、西日本の発展、日本の発展につながるこの山陰近畿道に関わりの深い末松先生、藤井先生が副大臣、政務官となられた、このような時に一歩も二歩も前に進められるよう、私も全力で頑張りたい。

■赤澤衆議院議員（鳥取2区）

経済効果とか、いろんな話があるが、私としては、国境を形成する海沿いの道路ができていないというのは、安全保障上の問題だと感じている。

■谷衆議院議員（兵庫5区）

北近畿豊岡道とあわせて、必ずやる、やりとげる、そういう強い決意で頑張りたい。

【国土交通省】

■末松国土交通副大臣（参議院兵庫）

日本海側の中での都市間交流がまず大事。ジオパーク、魚介類、温泉、可能性を秘めた地域が、どんどん都市部に近づいていく道路であると思う。開通済みと事業中で約50%。もう一踏ん張り、二踏ん張り、引き続き調査すべきところは調査をしながら、三府県連携をとって事業推進にあたって頑張っていきたい。大きな責任を在任中は負って、責務を感じて頑張りたい。

■藤井国土交通大臣政務官（兵庫4区）

末松副大臣が仰ったとおり。日本海側の大切さは、皆さんが一番ご存じと思う。

■石川国土交通省道路局長

この山陰近畿道、120kmのうち7割が調査中、事業中。末松副大臣、藤井政務官のご指導をいただきながら、府県と力をあわせてしっかりと進めてまいります。

【地元関係者】

■三崎京丹後市長

昨年7月に京都縦貫道が全線開通し、観光客が大幅に増えた。さらに、10月30日に山陰近畿道野田川大宮道路が開通した。来訪者は、本当に近くなったと実感してもらっている。高速道路ネットワークを活用した観光のため、6月に町の枠を越えた「海の京都DMO」を設立し、知恵を出し合っているところ。地方創生の推進、産業振興のため、着手済みの大宮峰山道路の早期完成、空白地帯の解消、全線開通を実現していただきたい。我々も一生懸命頑張りたい。

■丹後海陸交通（株） 角 取締役バス事業部長

弊社は、昭和19年設立で、丹後地域を営業エリアとしている交通事業者。昨年全通した京都縦貫道を通る京都への高速乗合バスでは、利用者から「早く行けるようになり、ありがたい」、運転手からは「疲れることなく安全運行ができる」と好評。高速道路が延びていくことで、この地域が輝いていけるようになるのでは、と期待し、山陰近畿道の全線開通を心より願っている。

■司会 谷 衆議院議員

他、発言者は豊岡市長、新温泉町商工会会長、岩美町長、鳥取市観光コンベンション協会理事